



立教大学教会音楽研究所
2019年度春学期 レクチャーコンサート



「ソロモンの雅歌 朗読と音楽の夕べ」

— 古代イスラエルの恋愛詩として —

2019年4月27日(土)

17:00~18:30 (開場 16:30)

立教学院諸聖徒礼拝堂 (立教大学・池袋キャンパス)



講師・朗読 池澤夏樹

リュート つのだたかし

朗読 池澤春菜

レバー・ハープ 中川あゆみ



シュラガ・ヴァイル画 (『雅歌—古代イスラエルの恋愛詩』教文館より) ©Efrat Weil-Amit

「雅歌(ソロモンの雅歌)」は、旧約聖書に収められた文書のひとつであり、古代イスラエルの民が生んだ古典文学作品です。レクチャーコンサートの第1部では、声優・池澤春菜氏による「雅歌」(聖書協会共同訳)の朗読と中川あゆみ氏の「祈りのハープ」の音色とともに、教会で朗読されるにふさわしいものとして新しく訳された聖書に親しみ、第2部では、作家・池澤夏樹氏が自ら編者をつとめた『雅歌—古代イスラエルの恋愛詩』(秋吉輝雄訳、教文館、2012年)を朗読し、つのだたかし氏のリュート演奏とともに古代イスラエルの人々が親しんだ「恋愛詩」としての魅力にせまります。「雅歌」の奥深い精神世界をお楽しみください。

定員 150名 ・ 参加費 無料

お申し込み方法

往復はがきの往信の裏面に①名前 ②住所 ③電話番号 ④参加人数(2人まで)を、返信の表面にも返信先の住所・氏名を明記して下記までお申し込み下さい。返信はがきを追って返送いたします。また、車いすの方はその旨をご記入ください。宛先：〒171-8501 東京都豊島区西池袋3-34-1 立教大学教会音楽研究所 行

締切日 4月19日(金) 必着

(定員になり次第、締め切ります。)



池澤夏樹(いけざわ・なつき) 1945年北海道生まれ。詩人・小説家・翻訳家。1987年『スティルライフ』で芥川賞受賞。個人編集『世界文学全集』(全30巻、2010年。毎日出版文化賞(2010年)、朝日賞(2010年度)を受賞)『日本文学全集』(全30巻)(ともに河出書房新社)を編纂。秋吉輝雄との仕事として『ぼくたちが聖書について知りたかったこと』(聞き手、小学館、2009年)ほか著作多数。旧約聖書学者・秋吉輝雄は、父・福永武彦の従兄弟にあたる。

つのだたかし 1946年生まれ。68年渡独。72年から国立ケルン音楽大学でリュートをミハエル・シェッファーに師事。76年に卒業後帰国。数少ないリュート奏者のひとりとして、独奏、室内楽等で活躍し、古楽の草創期を支える。イギリスルネサンスのリュート伴奏歌曲、17~18世紀イタリアのマドリガーレなど声楽とのアンサンブルに集中的に取り組み、国内外で数多くの公演に出演。古楽レーベル「パルドン」をプロデュースし、数多くのCD作品を発表。ジャンルを超えた古楽器バンド《タブラトゥーラ》、聖歌・宗教音楽を演奏する《アンサンブル・エクレジア》を主宰。



池澤春菜(いけざわ・はるな) 声優、俳優、歌手、文筆家として多角的に活動を行う。著書に『乙女の読書道』『SFのSは、ステキのS』『はじめましての中国茶』『最愛台湾ごはん——春菜的台湾好吃案内』『おかわり最愛台湾ごはん——春菜的台湾好吃案内』など。現在、朝日新聞書評欄にて「池澤春菜が薦める文庫この新刊!」を連載中。

中川あゆみ(なかがわ・あゆみ) 心身の苦難にある方のもとを訪れ、歌とハープによる祈りの時をともに持つ「リラ・プレカリア」の一員。痛み苦しむ魂のケアとなることを願い、詩篇・グレゴリオ聖歌・テゼ・lullabyを用いて、人の尊厳に寄り添うく生きた祈りを奏でる活動を行っている。



お問合せ 立教大学音楽研究所

<http://www.rikkyo.ac.jp/research/institute/icm/>
E-mail music@rikkyo.ac.jp
Tel & Fax 03-3985-2786

*不在がちなため、お問い合わせはメールで
下さいますようお願い申し上げます。

